

2020年度

多文化共生 コーディネーター研修

東京都内には、約57万人の外国人が暮らしています。今後さらに外国人が増えることが予想される中、国籍や民族の異なる人々が地域社会の構成員として、共に生きていく多文化共生社会の形成が急務です。

そこで東京都は「多様性を都市づくりに活かし、全ての都民が東京の発展に向けて参加・活躍でき、安心して暮らせる社会の実現」を目指し、2016年2月に「東京都多文化共生推進指針」を策定しました。この指針に基づき、地域における外国人の多様なニーズにきめ細かく対応し、多文化共生社会の実現に資する専門人材である「多文化共生コーディネーター」の研修を実施します。

多文化共生コーディネーターに求められる **知識・スキル**

- ① 外国人住民に関わる基本的な法制度について理解している。
- ② 教育・医療・防災等、多文化共生の諸課題に関する知識を有している。
- ③ 多文化共生の諸課題の解決に向けて、関係部署・団体の連携や協働を進め、企画立案する能力を有する。

日時 2020年**10/22**[※]、**10/29**[※]、**11/12**[※]、**11/26**[※]
9:00～17:15 (90分×4時限×4日間)

開催方法 ウェブ会議ツール「Zoom」を用いて、オンライン開催いたします。
・研修参加における設備環境などは参加者自身の責任においてご準備ください。
・研修資料は事前にメールでお送りいたします。

対象 都内区市町村及び地域国際交流協会の職員、
都内多文化共生に係る市民団体関係者等（現在コーディネーターの役割の方あるいは将来コーディネーターの役割を担当される方を想定しています。）

内容 多文化共生に係る概論及び各分野に係る基礎、基本に関する講義
+ ワークショップ + バーチャルフィールドワーク

定員 4日間全科目受講者 45名程度
※ワークショップ・ネットワーキングタイム・バーチャルフィールドワーク・個人発表必須
単科目受講者 各20名程度
※ネットワーキングタイム・バーチャルフィールドワーク・演習以外の科目の単科目受講可

費用 **無料**

申込 インターネットから、専用のお申込みフォームをご利用ください。
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/e118f9c0673743>



募集期間 **8/7**[※]～**9/24**[※] 応募者多数の場合抽選

問合せ 東京都国際交流委員会 TEL: 03-5294-6542 Mail: tm-ticc@tokyo-icc.jp

その他 ・4日間の全科目の8割以上に出席し（ワークショップ、ネットワーキングタイム、バーチャルフィールドワーク、個人発表は必須）、個人発表の原稿を提出した方に、東京都国際交流委員会が発行します。
・4日間全科目修了した方は受講1年後に1年間の活動報告書を提出していただけます。また、東京都が実施する多文化共生推進事業への協力を依頼する場合があります。

多文化共生コーディネーター研修 カリキュラム

全体監修 明治大学 山脇 啓造教授 東京都多文化共生推進委員会委員長、国や地方自治体の多文化共生施策関連委員を歴任。

研修ファシリテーター ＊長倉 美紀氏 一般財団法人自治体国際化協会認定多文化共生マネージャー

＊新居 みどり氏 特定非営利活動法人 国際活動市民中心CINGA 理事

＊平野 智子氏 一般財団法人港区国際交流協会

	1時限 (90分) 9:00-10:30	2時限 (90分) 10:45-12:15	休憩	3時限 (90分) 13:05-14:35	4時限 (90分) 14:50-16:20	16:35-17:15
10/22 木	<開講式> 「多文化共生のこれまでとこれから」 多文化共生に係る行政の取り組みの 歴史と現状および今後の課題 講師：山脇 啓造氏 (明治大学教授)			「出入国管理行政」 在留資格制度を中心とし た入管法の基礎知識、 多文化共生社会への取組 講師：安本 大輔氏 (東京出入国在留管理局審査 管理部門受入環境調整担当統 括審査官)	「コーディネーターについて考える ワークショップ」 多文化共生コーディネーターの 意義と役割 講師：山脇 啓造氏 パネリスト：研修ファシリテーター 長倉 美紀氏 新居 みどり氏 平野 智子氏	
10/29 木	＊「子どもの教育」A 外国につながる児童・ 生徒の学習支援 講師：ピッチフォード理絵氏 (特定非営利活動法人 青少年 自立援助センター 定住外国人 子弟支援事業部 YSCグローバ ル・スクール)	「情報提供・ 生活相談」 多言語・多文化に配慮した 外国人住民への情報提供 と生活相談 講師：藤井 美香氏 (公益財団法人 横浜市国際交流協会 多文化共生推進課 シニアコーディネーター)		「就労」 外国人材受入支援 講師：東京都産業労働局 雇用就業部就業推進課 担当者 外国人就労状況 講師：加藤 裕康氏 (新宿外国人雇用支援・指導 センターハローワーク新宿 (専門援助第三部門) 統括職 業指導官)	「災害対応」 多文化共生社会における 防災の課題と コーディネーターに求め られる視点 講師：菊池 哲佳氏 (仙台多文化共生センター 公益財団法人 仙台観光 国際協会 国際化推進課)	ネット ワーキング タイム フィールド ワークに向 けての準備 研修ファシリ テーター
11/12 木	「医療・保健」 東京都の外国人医療 講師：東京都福祉保健局 医療政策部医療政策課 担当者 多言語対応、医療通訳、 通訳ボランティアなど 医療・保健現場における 課題 講師：西村 明夫氏 (RASCコミュニティー通訳支 援センター代表)	「日本語教育」 「生活者としての外国人」 のための日本語教育 講師：北村 祐人氏 (文化庁国語課 日本語教育専門職) 地域日本語教育 講師：萬浪 絵理氏 (公益財団法人 千葉市 国際交流協会委嘱 日本語教 育コーディネーター)		<フィールドワーク> バーチャルフィールドワーク 外国人在留支援センター (FRESC/フレスク) 進行：研修ファシリテーター		
11/26 木	「意識啓発」 多様性や人権尊重 ヘイトスピーチへの 対応等 多文化共生の意識づくり 講師：黒部 学氏 (東京法務局人権擁護部 人権擁護専門官) 講師：山脇 啓造氏	「社会参画」 外国人住民による地域活 性化とグローバル化への 貢献 講師：ブパール・マン・シュ レスタ氏 (エベレスト・インターナショナル・ スクール・ジャパン (EISJ) 理事長) トラン マン ティエン氏 (株式会社グローバルトラスト ネットワークス 外国人住まい事業 本部 債権管理部 マネジャー) 柚井 ウルリカ (ライフ・クリエイター) 進行：山脇 啓造氏		<演習> フィールドワーク振り返り	個人発表 発表準備・発表	<閉講式> 講評

10月29日の「子どもの教育」は「子どもの教育」Aか「子どもの教育」Bのどちらかをお選びください。
 10月22日、11月26日のプログラム後に1時間程度のオンライン懇親会を予定しております。(参加は任意)

